室内用

取扱説明書

(掛置兼用デジタル電子音目覚まし時計)

お買い上げいただきありがとうございます。

お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。 お読みになった後もお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。

製造リズム株式会社

〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番地12 https://www.rhythm.co.jp

(Y2507)

※品名·型番 ※保証期間 お買い上げ 日より 1年間 お客様 ご氏名 様 ご住所 TEL(※販売店印(所在地、店舗名、電話番号)

取扱説明書にそった正常な使用状態において、万が一保証期間内に故障がおきた場合、本保証書を添え

て時計お買い上げの販売店にで持参くだされば、無料修理・調整いたします。尚、本保証書の発行によりお

客様の法律上の権利を制限するものではありません。この保証書は、お買い上げ店で発行いたします。必

この保証書は、お客様へのアフターサービスの実施と責任を明確にするためのものです。ただし、貴店

●ネット通販をご利用の場合は、領収書やレシートなど、購入日が確認できる記録を添付してください。

ず※印欄の記入・捺印をお確かめのうえ大切に保管してください。保証書は再発行いたしません。

●ご記入いただきました個人情報は、修理·調整に関するご連絡にのみ利用させていただきます。

●この保証書は国内のみ有効です。This guarantee is valid only in Japan.

■次のような場合には、保証期間中でも有料修理になりますのでご注意ください。

で別に保証書を発行する場合は、この限りではありません。

保証について ※送料・出張料は、実費をいただきます。

での落下など異常な衝撃による故障または損傷。 8. 電池の交換。

2. 保証書の※欄に記入・捺印のない場合、字句を書

4. お客様のお手元に渡ってからのお取り扱いや輸送

3. お買い上げ店以外の販売店にご依頼の場合。

電波時計について

GUARANTEE 保証書

※印は販売店記入

アフターサービスについて -

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお 読みの上、ご利用ください。お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、当社 総合サポートにお問い合わせください。保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。

●修理部品の保有について

電子回路などの修理用性能部品は製造打ち切り後、3年間を基準に保有しています。ただし、ケース などの外装部品の修理には、類似代替品の使用や現品交換で対応させていただくことがあります。

●修理可能期間について

無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料での修理が可能で す。ただし、修理内容や送料などにより、修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよく ご相談ください。

この製品のサービスおよび技術サポートは日本国内でのみ利用可能です。 Service and technical support for this product are available only within Japan.

リズム総合サポート お問い合わせ先

https://rhythm.jp/support/

商品照会の際は、製品裏面または底面に表示してある製品番号(型番)をご確認ください。例. 8RZ〇〇〇 お客様相談室:0120-557-005 受付時間 9:00~17:00 (土日、祝日および当社休日を除く)

安全にお使いいただくためにはじめにお読みください

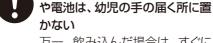
ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。 必ず守ってください。

図記号の説明

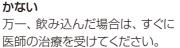
◇は、禁止(してはいけないこと)を示しています。 **Φ**は、指示する行為を必ず守ることを示しています。

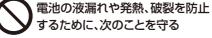
死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容





梱包用のポリ袋をかぶらない 誤飲を防止するため、小さな部品





- ●電池に傷をつけない。
- ●電池を分解しない。
- ■電池をショートさせない。
- ●電池を充電しない。
- ■電池を加熱しない。
- ●電池を火の中に入れない。



窒息する恐れがあります。 電池の液漏れが起きたときは、素

●目や皮膚についたら、すぐに水道水でよ く洗い流して医師の治療を受けてくだ さい。衣服に付着した場合は、すぐに水 道水で洗い流してください。アルカリ乾 電池の場合、失明や炎症などの障害が 発生する危険性が高くなります。

手でさわらない

■電池を外して漏れた液を布や紙でよく ふき取ってください。修理が必要なとき は、お買い上げの販売店または当社総 合サポートにお問い合わせください。

電波の受信範囲について

電波時計とは

■販売店の方へ

1. 保証書のご提示がない場合。

きかえられた場合。

クオーツ時計に標準電波を受信する機能を搭 載し、標準電波を受信することにより、自動的に 正確な時刻に修正する時計です。

標準電波とは

標準電波(JJY)は、日本標準時(JST)をお知ら せするために、情報通信研究機構が運用してい る電波です。

※標準電波の時刻情報は、およそ 10万年に1秒 の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。 標準電波送信所は、福島県の「福島局: おおたか どや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県 境にある「九州局:はがね山標準電波送信所」の 2ヵ所にあります。

能です。ただし、受信範囲であっても電波障害 (太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯(昼/ 夜) あるいは地形や建物の影響など) により、受 信できないことがあります。

送信所から約1200km離れた場所でも受信可

5. 天災・火災または異常な塩分・酸・蒸気・熱・有毒

6. お客様による修理・改造などが原因で故障した場合。

7. ご使用中に生じる外観上の変化。(製品の小キズ

ガスなどの影響による故障、または損傷。

や汚れなど)



を自動選択して受信します。

※標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。 (https://jjy.nict.go.jp)

海外でのご使用について

標準電波の送信停止について

送信所の定期点検や落雷などの影響により、標 準電波の送信が停止することがあります。標準 電波の送信状態については「情報通信研究機 構しのホームページをご覧ください。

この時計は、日本以外の標準電波は受信できま

せん。海外でご使用になるときには、電波受信 機能をOFFにして手動で日時を合わせてくださ い。ONのまま使用すると、まれに日本の標準電 波を受信し、日本の標準時を表示したり、ノイズ により誤った日時を表示することがあります。

傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定さ ҈ 注意 れる内容 電池の⊕⊖を正しく入れる 下記のような場所では使わない



強い振動や衝撃を与えない

や故障の原因になります。

液漏れや発熱の原因となり、けが



故障や破損の原因になります。



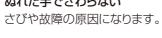
浴室やサウナ、温室など、高温・高 湿になる所では使わない さびや故障の原因になります。



ぬれた手でさわらない



分解や改造をしない





けがや故障の原因になります。



性能の低下、部材の変形、変色、 劣化、故障の原因になります。

- ●直射日光が当たる所。
- 暖房機器の風が当たる所。
- ●温度が-10℃以下または+50℃以上の所。 ●火気のそば。●ほこりが多く発生する所。
- ●強い磁気を発生させる機器のそば。
- ●車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- ●プール、温泉場などガスの発生する所。
- ●調理場など多くの油を使用する所。 ●ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに長い間、 直接ふれさせておくと、色移りや付着、

変質をすることがあります。



液晶から漏れた液に素手でさわらない

破損で漏れた液には絶対にふれないでください。万一、手などに付着した場合 は、すぐに石けんで洗い流してください。

お手入れについて

- ●汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけ てふき取り、その後、からぶきしてください。
- ●ケースなどの汚れ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類 は、使用しないでください。
- ●静電気により、時計や掛けた壁面が汚れることがありますので、定期的に汚れを落とし てください。

電池のご注意(電池の正しい使いかた)

電池のご使用上のポイント 正しく使って事故をなくしましょう ●時計が動いていても定期的に交換する。

- ●プラス(+)、マイナス(-)を間違えない。 ●長期間使用しないときは電池を取り外す。
- ●電池に表示されている使用推奨期間内に使う。●幼児の手が届かない所に置く。
- ●時計が止まったらすぐに電池を取り外す。
- ●古い電池と新しい電池を混ぜない。
- ●種類の異なる電池を混ぜない。

■電池の種類について ●アルカリ乾電池とマンガン乾電池は形状的に互換性があり、一般にアルカリ乾電池の

- ほうが長持ちします。 ●一般に充電式の電池は電圧が低く、時計には不向きですので使用しないでください。
- ●一部の電池は、形状的に本製品には不向きなものがあります。 (例:Panasonic
- EVOLTA(エボルタ)乾電池) ※「EVOLTA」は、パナソニック株式会社の登録商標です。 ■電池の寿命について

●温度などの使用条件により、電池寿命が製品仕様より短くなることがあります。

- ●買い置きの電池を使用した場合、保管状態や乾電池に示されている「使用推奨期限」
- により、電池寿命が短くなることがあります。

電池からの液もれにより、修理や家具などの修繕に費用が発生することがあります。電

- ●液晶表示が薄くなったときには、速やかに指定の電池に交換するか、電池を取り出す。 ●古い電池と新しい電池、マンガンとアルカリ電池を混ぜて使用しない。
- ●動いていても1年に1回定期的に交換する。

池からの液もれや発熱、破裂を防ぐために、つぎのことをお守りください。

- ●電池の⊕⊖を逆に入れない。

CITIZENの商標は、シチズン時計株式会社のライセンスに基づき使用されています。

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。本製品を使用することによって生じ たいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いかねますのでご了承ください。

温度湿度表示について

本製品は、一般的な家庭やオフィスの室内用です。

次のような場所では使用しないでください。 ○屋外、温室、サウナ、プール、温泉、浴室、冷蔵庫、車の中。

○直射日光が当たる場所や冷暖房器具、加湿器、除湿器などの近くを避けてください。 ※設置する高さによっても温度・湿度が変わります。一般的な室内の低い位置では温度

は低く、湿度は高くなります。また、湿度は「空気のかたまり」として移動するため、同じ

※センサーが時計内部にあるため、周囲の温度、湿度の変化をすぐには反映しません。 ※厳密な温湿度管理や温湿度の証明、商取引には使えません。

測定範囲を超えたときの表示とその意味

温度 「##.#」50℃を超える高温 「*LL.L* 」−9.9℃未満の低温 **湿度** 「#H」95%RHを超える多湿 「ℓL」20%RH未満 「--」測定不能 (温度が5~50℃の範囲外)

室内でも風通しのよいところと悪いところでは違いがでてきます。

「%RH」は相対湿度を表しています。天気予報など一般的には「%」で表示されること が多いです。

電池・時計の廃棄

- ●お住まい地区自治体の指定に従ってください。
- ●製品を廃棄するときは、電池と本体を分別して、使用済みの電池はセロハンテープな どで絶縁してください。

おもな製品仕様

使用温度範囲 -10~50℃ *結露しないこと 液晶表示可読温度 0~40℃

時 間 精 度 標準電波受信成功直後の表示精度 ±1秒

標準電波を受信しない場合 平均月差±30秒 温度が5~35℃のときのクオーツ精度

準 電 波 標準電波を受信して日付・時刻を修正

用 電 池 単3形マンガン乾電池 JIS 規格 R6P 2個 ※単3形アルカリ乾電池を使用することができます 命 約1年 1日当たり、アラームを30秒鳴らしたとき 池 寿

滴 防 塵 なし

受 信 局 福島局/九州局自動選択 受信回数 1日8回 受信開始時刻 1時~4時、13時~16時 各時間帯の16分40秒に開始

受 信 ON/OFF あり

アラーム音電子音

に戻ります。

アラーム機能 セットした時刻にアラーム カレンダー 2011~2099年対応

が鳴る ア ラ ー ム 精 度 表示時刻に対して ±0秒

- トストップ 2分でアラーム音停止

六

温 度 表 示 -9.9~50℃ 温 度 精 度 ±2℃ 湿 度 表 示 20~95%RH

曜 2011~2030年対応

音量調節なし 湿 度 精 度 ±10%RH ※液晶はその特性上、0℃以下になると表示反応が遅くなり、表示が薄くなることがあります。

40℃以上になると表示が濃くなり、ムラに見えることがあります。温度が0~40℃になれば正常

※液晶表示板は5年を過ぎると、コントラストが低下して数字が読みにくくなることがあります。 ※表記の電池寿命は、新たに「おもな製品仕様」の推奨電池に交換した場合に適用となります。 ※製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

付属品 木ねじ 1個、 保証書 1枚

各部の名称と役割

◎図は操作説明用ですので実際の商品と異なることがあります。

温度 湿度

◎時計正面より見てください。液晶は見る方向により薄くなったり、ムラに見えることがあります。



六曜

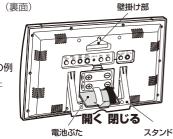
アラームのON/OFFで

表示が変わります。

ON:アラーム時刻

温度/湿度 測定できないときの例 HH. f^{--*} 50℃を超えた LL!*--*-10℃以下 **49**9°HH* 95%を超えた 5.8°LL" 20%未満 -90°--* 湿度測定不能

湿度は温度が5~50℃のとき測定



単3形乾電池 2個

OFF:日付または現在時刻 場枝など細い棒で 押してください。 時刻/ 日付 アラーム ON/OFF モニタ・ 強制 受信 \odot (\mathbf{y})

電池を入れるときは、電池ぶたを開閉して

電池を電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせ て、入れてください。

電池の⊕⊖を指示と逆向きに入れると液

■ ボタンのおもな機能

9 8 7 6 5 4 3

①モニター -— アラーム音を試聴するときに押します。 ②アラームON/OFF — 押すたびにアラーム機能のON/OFFが切り替わります。 ③進む-- 1)アラーム時刻の設定状態にする。

(2) (1)

4)戻る 2)アラーム時刻、手動日時設定状態で数値を合わせる。

ボタン操作 押してすぐ離す 押し続ける 進む 1つ進む 早送り 戻る 1つ戻る 早戻し ⑤リセット 電池を入れた直後や誤作動したときに押します。 ⑥時刻合わせ ― ― 手動で日時を合わせるときに使います。

— 受信機能がONのときに押すと受信を開始します。 現在時刻と日付の表示位置を切り替えるときに押します。 ⑧時刻/日付 — ― 時刻の表示形式を切り替えるときに押します。

時計の状態は、①日時、温湿度を表示している通常状態 ②受信マークが点滅している受信状態 ③アラームが鳴っているアラーム状態 ④アラーム時刻の設定状態 ⑤手動での日時設定状 態があります。状態によっては、無効になるボタン操作があります。

1. 使いはじめるとき(電池を交換するとき) 電池を入れて日時を合わせる

標準電波を利用しないで、手動で日時を合わせるときには、(手動での時刻合わせ)をお読みください。 電波を受信しやすい窓際などに置いてください。

「ピィ」と鳴ります。

● 電池を入れる

2 リセットを押す

受信を開始します。

【受信の流れと表示】





電源投入直後およびリセットを押した直後 は、2011年1月1日午前12:00、アラー ム時刻午前6:00に設定されます。

受信マークの変化(電波サーチ機能) 電波の状態により変化します。



1~2分経過しても①または②の受信状態 が続く場合は受信できません。場所を変え てリセットを押し、再度受信を開始させてく ださい。

〈受信終了〉 最長20分後 ■ ❸ 20分待って受信結果を確認する 受信時間は最長で20分です。受信マークで

※受信中はボタンに触れないでください。

電池を入れた直後やリセットを押すと電子音が

受信結果を確認してください。 【**受信の流れと表示**】参照

電波受信中のボタン操作について

電波の受信中に進むまたは戻るを押すか、時刻合 わせを約2秒間押し続けると、受信マークが消灯し て、受信を中止します。

電波を受信しにくい環境

次のような場所では受信できない場合や誤った日 時を表示することがあります。

- ●工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電 波障害の起きる所
- ●金属製の雨戸やブラインドの近く
- ●ビルの中、ビルの谷間、地下 ●高圧線、テレビ塔、電車の架線近く
- ●朝夕の時間帯、雨天のとき
- ●家電製品やOA機器の近く
- ●スチール机等の金属製家具の上や近く

(受信に成功したときの表示例) □ 点灯 (受信に**失敗**したときの表示例)

消灯

受信に失敗したときの **23.54*** 日時は正しくありません。

** 53'E 24* ●受信マークは受信成功後、24~25時間点灯。

Vaa

●受信に成功しても、ノイズにより誤った日時を表示することがあります。 このようなときに は、場所を変えてリセットを押して再度受信を試みてください。

標準電波を受信できない場合

●朝までそのままにしておく

一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままに しておくと受信できる可能性が高くなります。

●場所を変える/受信をやり直す

電波の受信しやすい窓ぎわで取扱説明書の日本地図を参考にして、時計の正面また は裏面が電波の送信所に向くようにして、リセットを押して結果を確認します。

(手動での時刻合わせ ……電波が受信できないとき、任意の日時に合わせるとき

ボタン操作により、手動で日時を合わせることができます。 このときの時間精度は、平均月差±30秒のクオーツ精度になります。

●電波受信機能がONのときは、自動受信を行い受信に成功すると日時を修正します。

- (電波受信機能のON/OFF切り替え操作)参照 ●約30秒間ボタン操作をしないと、表示されている内容に設定して、時刻合わせを終わ
- ●アラーム時刻の設定状態やアラーム状態、アラーム音を試聴しているときは設定できません。 操作例に従って、西暦年、月、日、時刻(時、分)の順に設定します。

○点滅している数値を**進む**または**戻る**を押して合わせます。

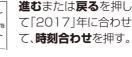
○時刻合わせを押すと次に進みます。

操作例. 2017年12月25日 午前10:37に合わせる

⑤ 時 ① 設定を開始する 西暦年が点滅するまで



時刻合わせを約2秒間 押し続ける。



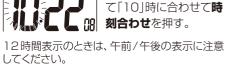
て[2017]年に合わせ



て、時刻合わせを押す。



進むまたは**戻る**を押し 時刻合わせを押す。



進むまたは**戻る**を押し

⑥ 分(秒)



進むまたは戻るを押し て[37]分に合わせて時 刻合わせを押す。

て[12]月に合わせて、 秒は、⑤または⑥のときに、**進む**または**戻る**を 押すたびに「00」秒に設定されます。

以上で日時の設定が終わりました。

2. アラーム機能の使いかた

-1. アラーム時刻を合わせる ①アラームON/OFFを押してアラームマーク((*))を消す

アラーム状態のときは設定できません。

②**進む**または**戻る**を押してすぐ離す

「アラーム」が点灯してアラーム時刻が点滅。 ③**進む**または**戻る**でアラーム時刻を合わせる

④約5秒間ボタン操作をしないと設定を終わる

-2. アラームのON/OFF設定

アラームON/OFFを押すとONとOFFが 切り替わります。

ON 設定時刻にアラームを鳴らす アラームマーク ((**)) を表示。

OFF 止める、鳴らさない

アラームマーク ((*)) が消える。

アラームマークが表示されているときは、毎日アラームが鳴ります。アラームを使わな いときはアラーム機能をOFFにしてください。

■オートストップ機能(自動鳴り止め)

鳴っているアラームを放置すると約2分間鳴って止まります。

■アラーム音を試聴するには

モニターを押すと約2分間アラームが鳴ります。途中で止めるには、**モニター**を押してく ださい。

●日時、アラーム時刻の設定状態、受信状態、アラーム状態のときは使えません。

3. 表示の切り替え

時刻優先

10:378 | *..| 535,54* 秒を表示しません。

日付優先

◎曜日の位置について

図のように曜日により、表示位置が変わ ります。

■ 時刻表示形式の切り替え

12/2Hを押すと午前/午後付の12時間 表示と24時間表示が切り替わります。

(設定例)

(表示例)

ON

12 時間表示のときは午前 /

アラーム時刻を表示

日付または現在時刻を表示

午後の表示に注意

12時間表示

24時間表示

12/24H \blacksquare 12/25# | _{**}|23<u>\$</u>54* 12/25# | _{**}|23<u>\$</u>54* 午前12:00 00 ~11:59 59 00:00 00 ~23:59 59

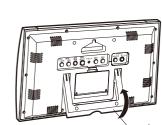
午後12:00 00 ~11:59 59 ◎六曜について

旧暦の月と日から導きだされ、先勝・友引・ 先負·仏滅·大安·赤口の6種類があります。 六曜は慣習として使われていますが公的 な機関が定めたものではありません。

2030年以降は表示されません。

●日時、アラーム時刻の設定状態、受信状態、アラーム状態のときは、表示の切り替え操 作ができません。

4. 設置について



置いてご使用になるときには、スタンドを 図のようにしてください。

※無理な荷重を加えるとスタンドが外れ たり、破損することがあります。

※転倒を防ぐために、水平で安定したとこ ろに設置してください。

⚠ 注意 | 掛けかたが不適切な場合、時計が落下する危険があります。

○掛けたときは、上下、左右に軽く動かして、壁掛け部に掛け具(木ねじ)がしっか り掛かっていることを確認してください。 ○垂直に掛けてください。傾くと掛け具から外れるおそれがあります。

○市販の掛け具を使用するときは、壁掛け部にしっかり掛かるものを選んでくだ

さい。 ○ドアを開閉するときの振動が伝わらないところに設置してください。

○掛け部以外に掛けないでください。

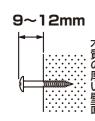
※掛けるときは、スタンドを収納してください。

木の柱または木質の厚い壁面の場合

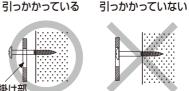
●付属の木ねじが使用できる場所は、木の柱または木質の厚い壁面です。

●木ねじは下図のとおり、壁面にしっかりねじ込んで固定してください。









その他の壁面の場合

●石膏ボード、コンクリートなどの壁面に掛ける場合は、壁の材質・構造と時計の重量に 合った、市販の掛け具をご使用ください。その際、粘着式や吸盤式は時計が落下する 危険がありますので、使用しないでください。

電波受信機能のON/OFF切り替え操作

電波を受信できないときや誤受信しやすい所で使うとき、意図的に日時を変えて使うと きは、電波を受信しないようにすることができます。

O N: 受信機能有効 定時に受信を行う OFF: 受信機能無効 電波を受信しない

受信機能 ON

戻るを押しながら、リセットを押すと「ピィ」 リセットを約1秒間隔で3回押してください。

を離してください。受信を開始します。

受信機能 OFF

と鳴って受信を開始します。その後に戻る○「ピィ」と鳴ってから押してください。

○OFFになると「ピィ」と鳴りません。 ○日時は手動で合わせてください。 ※操作のタイミングによっては、ON/OFFが切り替わらないことがあります。このよう

なときには操作を繰り返してください。 ※回路内に電荷がなくなると、次に電池を入れたときに受信機能がONになります。

(強制受信とリセット操作

■ 強制受信 (受信機能がONのとき)

設置場所を移動したときなどに、受信を試

るときは強制受信ができません。

日時は継続して表示します。 強制受信を押すと受信を開始します。 ※日時またはアラーム時刻の設定状態、

■ リセット

みたいときに使います。受信に失敗しても 作動したときに**リセット**を押します。 リセット直後は、2011年1月1日午前12:

電池を入れた直後や静電気などにより誤

00、アラーム時刻は午前6:00に初期化 されます。受信機能がONのときは、受信 アラーム状態、アラーム音を試聴してい を開始します。

静電気による誤作動について

静電気の影響により、表示が欠けたりして正常に機能しなくなることがあります。このよ うなときは**リセット**を押してください。

進むまたは**戻る**を押し て[25]日に合わせて、 時刻合わせを押す。

漏れ、発熱、破裂の危険があります。

■ 表示位置の切り替え

時刻/日付を押すと時刻と日付の表示位 置が入れ替わります。

12/25A23.654*

○六曜は2011~2030年まで対応。

スタンド